

平成27年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成27年11月14日（土） 午後1時30分～午後3時10分	
開催場所	南加茂台公民館大ホール	
担当議員	班代表者	伊藤 紀味枝
	司会者	高岡 伸行
	報告者	宮嶋 良造
	記録者	谷川 光男 尾崎 輝雄
	班員 (上記以外)	高味 孝之 片岡 廣
参加人数	8人	
主な質疑・意見等	<p>Q：日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書について、本市は「非核・平和都市宣言」のまちと核兵器全面廃絶を宣言しているのに、なぜ、議会は全員一致で賛成しなかったのか。</p> <p>A：ある国の核廃絶を日本政府が申し入れたところで、本当に核廃絶になるのかと、その思いもありこの件については反対とした。</p> <p>Q：戦後70年の今、先人たちの尊い犠牲のもと、私たち大人は子供たちに平和な社会を残すために、どのように伝えていけばいいのか、また伝えるべきであると思う。考え方や見解の相違を乗り越えて、引き続き平和運動を議会から行政に伝えていただきたい。</p> <p>A：考え方の違いはあれ、議会は合議体である。今回は全会一致しなかった。</p> <p>Q：戦争の怖さが薄れてきた。戦争の恐ろしさを経験者として教えることが、戦争を起こさない社会をつくることに繋がる。《精華町では戦争体験者の話があった》木津川市はこのような計画はないのか。</p> <p>A：本市としては、今年は戦後70年として、終戦前後の写真を8月6日～15日間、写真展として庁舎一階ホールに展示している。議会としての計画はない。</p> <p>Q：財政基金は、現在115億円あるが使うあてはあるのか。</p> <p>A：それぞれ目的を持って基金を積み立てている。 財政調整基金は、広く計画的な財政運営を行うための基金である。</p> <p>Q：交付金はいつから減るのか。市債18億円を先に無くせば良いのでは。</p> <p>A：合併9年目に入り、国からの地方交付税（合併算定替）がだんだん減っていくため。今後も行財政改革を行って最終約11億円の減になる。</p>	

	<p>市債18億円は永く使う公共施設事業のためのもの。 議会としては二つの基金を作るのは疑問視したが、市長は合併算定替のための基金をつくり、市民の皆様にも知ってほしいという思いから作られている。</p> <p>Q：コミュニティバスについて、学研都市病院に行くには遠くて1日かかるので、南加茂台から山田川駅までにバス路線を変更してほしい。 特典を出せばもっとバス利用者は増えると思う。</p> <p>A：市内を乗るのが目的であり、通勤、通学は奈良交通バスを利用し、昼間の自動車の乗れない人、高齢者の方で買物や病院に行く時のために走らせている。 新しく開発された城山台には、まだコミュニティバスは走っていない。加茂から木津へは基本的にはJRを利用してほしい。そしてJR木津駅からきのつバスを利用することとなる。 しっかりと聞いて行政に伝えるが課題としては難しい。</p> <p>Q：コミュニティバスについて、投資している金額に対してバス利用者はどうか。</p> <p>A：投資額の割には回収額は少なく、利用者も少ない。もっと多くの人が利用してほしい。 福祉の面からは少々の赤字が出てでも運行しなければと思う一面、なかなか難しい。バスに対する皆さまの要望は行政に伝える。</p> <p>Q：マイナンバー制度について、社会保障制度の中で一番に減らされるのが年金である。近い将来、資産のある人の年金を削減することが目的であると言っているが、それに利用されるのではないか。議員もしっかりと勉強してほしい。</p> <p>A：要望として行政に伝える。</p> <p>Q：プレミアム商品券について、今年は抽選でダメだった。来年も是非あるようにしてほしい。</p> <p>A：今回の20%のプレミアムは初めてのことであり、国の政策でやっており、次期については分からない。</p>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川市としては平和のために何をされているのか。 ・小中学校へのエアコン設置要望について。 ・コミュニティバスの再編を。
<p>その他特記事項</p>	<p>なし</p>

上記のとおり、報告します。

平成27年11月30日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成27年度第2回議会報告会

第2班 代表者 伊藤 紀味枝 ⑩